

平成22年度 一般会計 予算見積 事業別概要書(当初)

款	9. 教育費	事業名	5. 図書館電算整備事業			
項	5. 社会教育費	細事業名				
目	4. 図書館費	担当課・係	佐倉図書館	(執行課: 佐倉図書館)		

予算分析	臨時経費	継続事業	単独事業								(単位: 千円)	
	(歳入)	(歳出)	財源内訳									一般財源
要求額	0	2,035	要 求									2,035
決定額			決 定									

実施計画の内容	(実施計画における事業の概要)	施 策	英知を伝え、心豊かに明日を育むまちづくり/だれでも楽しく学習できるまちづくり/図書館情報提供システムを整備し									
	[図書館資料情報提供システム整備に関する業務]	施策体系コード	03-04-03-20-30				事業番号	41-1				
	適切な図書館システムを管理運用していくため、運用システムの保守及び機器のリース、専用通信回線等、システムの安定稼働に必要な管理をします。	総事業費	32,537千円				事業期間	平成22年度～平成22年度				
		年度別事業費	22年度									
			32,537									

(事業実施に関する根拠法令)  
 図書館法  
 佐倉市立図書館の設置及び管理に関する条例

< 事業に関する説明 >

(事業の説明) 円滑なシステム運用を実現するために、運用システムの保守および機器のリース等システムの安定稼働に必要な管理を行い、インターネットを活用した蔵書検索、資料の予約など図書館資料情報を提供し、市民サービスの向上を図る。	(事業の目的) 地域に散らばって運営されている図書館及び連携読書施設の資料情報を統一管理することで、効率的に資料の提供や情報の提供を行い、図書館利用者へインターネットを活用した利便性を提供する。	(事業の効果) 図書館利用者が、市内いずれの図書館においても基本的に同等の図書館資料情報サービスを受けることが可能となり、迅速かつ的確に図書館資料情報を提供することにより、市民サービスの向上につながる。 【佐倉市立図書館の利用実績数(平成20年度実績)】 貸出冊数 1,773,486冊 うち夜間開館の貸出冊数 342,751冊 利用者数 479,775人
(事業実施上の問題点)	(前年度からの見直し点) 現行の図書館システムを継続的に維持していく。図書館システム機器については、平成22年11月末をもって賃貸借期間満了となるが、現行の機器による運用が支障のないことから、1年間再リースを行うことにより業務の安定性、継続性を維持し、経費削減にも努める。	(見積についての特記事項) 図書館システム機器は、1年間再リースを行い経費削減に努める。